

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	もりもと としお	
氏名	森本 登志男	
所属・役職	キャリアシフト株式会社 代表取締役 北海道旭川市 最高デジタル責任者 (CDO) 北海道稚内市 DX 推進アドバイザー 東京都北区 DX 推進アドバイザー 元・佐賀県庁 最高情報統括監 (CIO) 総務省委嘱 ・地域情報化アドバイザー ・テレワークマネージャー ・地域力創造アドバイザー ・経営・財務マネジメント強化事業アドバイザー	
活動拠点	東京を拠点に、九州から北海道まで全国多くの地域から招聘を受けている	
略歴	<p>1995年 マイクロソフト株式会社に入社。Office のマーケティング、米国本社駐在などを経て、2003 年から事業開発室長として ICT とマーケティング手法を活用した地域活性化を支援。</p> <p>2008年～ 総務省委嘱 地域情報化アドバイザーの委嘱を受け、17 年間延べ 88 箇所で講演や委員会のアドバイザーなどを担当し、現在も継続。</p> <p>2011年～ 5年に渡り、佐賀県の最高情報統括監(CIO)として地方自治体の常勤職員として勤務。この間、地方行政の現場での ICT 利活用に取り組み、2014 年から県庁の全職員(約 4000 人)を対象としてテレワークを導入するなどの成果を上げる。</p> <p>2015年～ 内閣府 公共サービス・イノベーションプラットフォーム外部有識者。</p> <p>2016年～ テレワークマネージャーの委嘱を受け、9 年間の派遣回数は 117 回に及ぶ。(2025 年 4 月現在)</p> <p>2017年 テレワークが拓く将来像を提案した著書『あなたのいるところが仕事場になる』を上梓し、キャリアシフト株式会社を創設。</p> <p>2019年 G20 観光大臣サミット・官民セッション モデレーター。</p> <p>2022年より北海道旭川市役所 最高デジタル責任者 (CDO) 現職。2024 年 5 月に市民の利便性向上と職員の業務負担の軽減を両立する総合窓口ランドデザインを策定するなど、行政と地域の DX 推進をリードしている。旭川市の他にも、北海道稚内市、東京都北区の DX 推進アドバイザーなども務める。</p> <p>現在、多くの自治体や企業に向けて、DX・業務改善支援・コンサルティングを行うだけでなく、地方創生の分野においても、地域活性化に向けたプロジェクトや観光事業、ふるさと納税推進に携わっている。</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	テレワーク、働き方改革 地方自治体の ICT を用いた経営改革 地場産品発掘・ブランド化 サテライトオフィスなどでの企業立地促進定住促進	

		観光振興・交流・チャットボット 街なか再生・にぎわい創出
専門分野		計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体DX推進計画等） 人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム デジタルデバインド対策 働き方 テレワーク RPA導入 医療・介護・健康 農林水産業 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 スマートシティ ICT 活用広報 プロジェクトマネジメント支援
自治体向けメッセージ		東京での民間企業勤務と、地方での自治体職員としての勤務経験から、「東京と地方」・「民間企業と行政」という、それぞれ大きなギャップのある立場を熟知し、実効性のある地域課題の解決に取り組んでいます。これまで携わってきた事例を紐解きながら、それぞれの地域の持つ力を発揮するお手伝いをしています。
関連サイト		https://www.careershift.jp/
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロソフト株式会社での製品マーケティング・自治体営業・地域活性化支援。 ・佐賀県庁での地方行政における ICT 利活用。（県庁業務の全分野） ・地方自治体に対して、情報政策・情報発信・働き方改革・ブランディングなどの分野で、非常勤職員・外部アドバイザー・委員などの形で関わり、戦略策定や効果的な実践に向けての助言。直接、事業推進にあたることも。 ・地域の各種団体から、地域創生・街なか活性化・働き方改革などのテーマで、委員会への参加や講演・セミナーの依頼を受けて、各地域の課題解決にあたる。 ・企業から、働き方改革推進の支援依頼を受けて、現状の業務分析・テレワークの導入の支援を行っている。 ・従来の雇用形態では働くことが難しかった方々に対して、テレワークを用いて活躍の場が広がる、雇用主・働き手の両面に向けた啓発活動と、実践の場の創出を行っている。 ・著書「あなたのいるところが仕事場になる～「経営」「ワークスタイル」「地域社会」が一変するテレワーク社会の到来～」（大和書房）
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・2004～09年 徳島県上勝町の ICT 戦略の立案と実践。 ・2008年～現在 総務省地域情報化アドバイザーの委嘱による派遣実績 88 箇所 ・2011～16年 佐賀県最高情報統括監(CIO)としてシステム関連予算の大幅削減 この間、 2015年 政策へのデータ利活用推進の仕組みを創出し 2016年に「第1回総務大臣賞」受賞 2014年 佐賀県庁の約4000人の全職員を対象としたテレワークの導入 2013年「恋するフォーチュンクッキー 佐賀県庁 Ver. [AKB48 公式]」の動画配信により 230万再生を得るとともに、追随する自治体や企業が続出する全国的なムーブメントに発展。都道府県ブランド力調査において、万年46位の佐賀県を43位に引き上げる。 ・2015年度 九州総合通信局長賞 受賞(個人) ・2012年 佐賀県鹿島市において「鹿島酒蔵ツーリズム®」の起ち上げに参画。2018年には集客数が当初の約3倍、約9万人のイベントに成長した。 ・2015年 佐賀県多久市の商店街中多久マーケットの活性化に携わり、1年間で

	<p>店舗数 50%増を達成</p> <ul style="list-style-type: none">・2016年～現在 総務省テレワークマネージャーの委嘱による派遣実績117回。テレワークのトライアル実施などに導く・2017年～現在 キャリアシフト株式会社創設。より多くの自治体、企業に向けて働き方改革支援・テレワーク導入支援を行うだけでなく、地方創生にも力を入れている。 <p>SNS をシティプロモーション・移住施策に結び付けた「津山市 SNS 合戦」、若者をはじめ住民のニーズを引き出し、課題解決していく「境町街なか賑わい事業」、テレワークや移住を目指す「中津市テレワーク推進協議会」ほか、地方自治体のアドバイザー業務に携わってきた</p>
--	---